

# I. 人 口

## 1. 県人口の動向 〜〜増加率は全国平均の2倍〜〜

昭和55年10月1日現在の人口は、2,558,007人で全国47都道府県中12位である。昭和50年の人口と比べると215,809人、率で9.2%の増加を示し、これは全国の人口増加率4.6%を上回る2倍となった。

## 2. 地域別人口 〜〜大幅な増加を示した県南人口〜〜

地域別に割合で見ると県北平担が県人口の30.4%を占め最も大きく、次いで県南の28.1%、県西の20.3%、県北山間の11.9%、鹿行の9.3%となっている。これを昭和35年と比べると、県南は4.6ポイントと著しい増加をみせ、県北平担は2.6ポイントと着実な増加を続け、一方県北山間は5.6ポイント、県西は1.6ポイントとそれぞれ減少している。

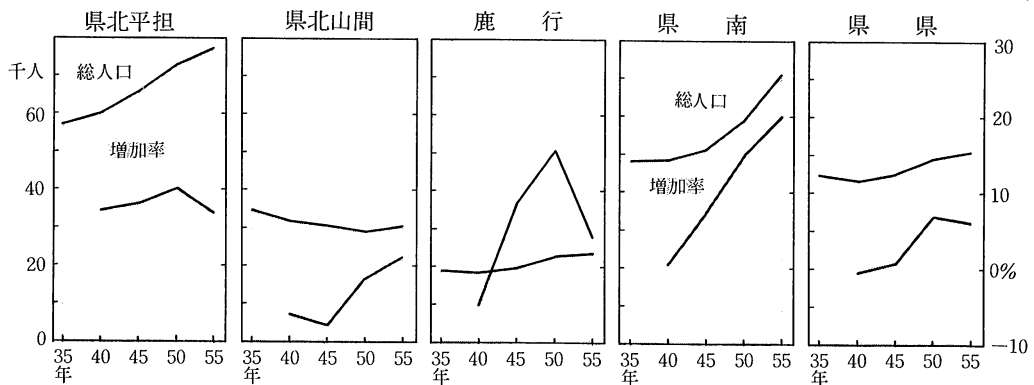
表1 地域別人口の推移・割合・増加率

(昭和35～55年)

内訳 年次 地域	人 口					割 合					増 加 率			
	35	40	45	50	55	35	40	45	50	55	35 ~40	40 ~45	45 ~50	50 ~55
県 計	2,047,024	2,056,154	2,143,551	2,342,198	2,558,007	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.4	4.3	9.3	9.2
県北平担	568,956	610,937	662,586	728,674	777,602	27.8	29.7	30.9	31.1	30.4	7.4	8.5	10.0	6.7
県北山間	358,157	335,045	309,451	301,063	304,937	17.5	16.3	14.4	12.9	11.9	△6.5	△7.6	△2.7	1.3
鹿 行	190,473	181,179	196,773	227,280	238,185	9.3	8.8	9.2	9.7	9.3	△4.9	8.6	15.5	4.8
県 南	481,318	484,406	520,076	597,003	718,536	23.5	23.6	24.3	25.5	28.1	0.6	7.4	14.8	20.4
県 西	448,120	444,587	454,665	488,178	518,747	21.9	21.6	21.2	20.8	20.3	△0.8	2.3	7.4	6.2

図1 地域別人口の推移

(昭和35年～55年)



### 3. 市町村別人口 ~~~~郡部人口の比重更に高まる~~~~

市部，郡部別にみると，市部人口は1,247,058人，郡部人口は1,310,949人で県人口に占める割合は，市部48.8%，郡部51.2%となっている。

市町村別に昭和50年と比べると，92市町村のうち18市60町村で増加，14町村で減少している。また2市（常陸太田市，北茨城市）6町村（常北町，玉造町，北浦村，新利根村，桜川村，東村）が減少から増加に転じ，前回増加の大洗町，麻生町，牛堀町の3町が減に転じた。

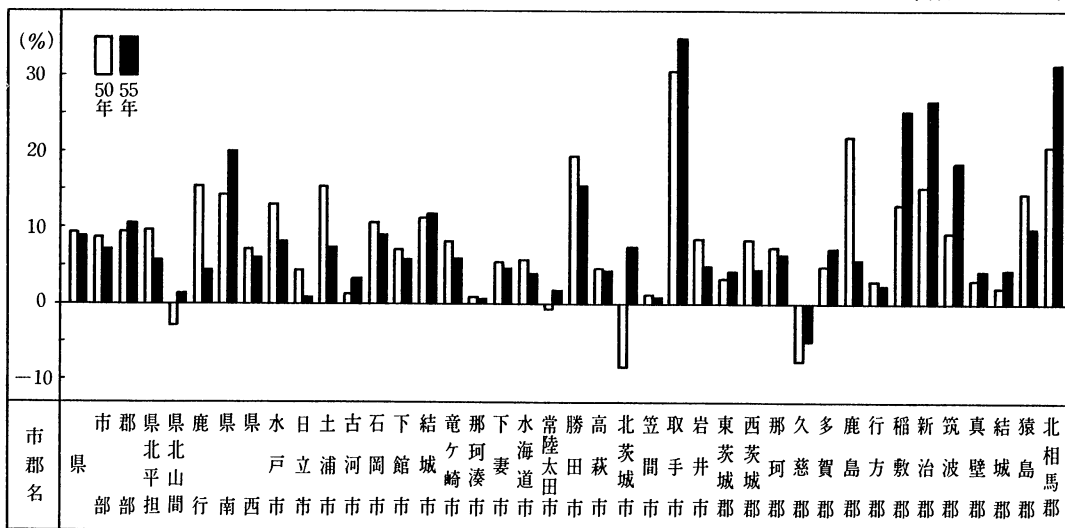
増加数では，桜村が19,693人と最も多く，次いで取手市，水戸市の順に増加している。

増加率でみると，桜村は実に132.9%（全国1位）で最も高く，次いで莒崎村の103.0%（全国3位）といずれもこの5年間に2倍以上の増加となった。

反面，人口減少は県北山間地域に多く，里美村7.4%，水府村7.0%，緒川村6.5%等14町村となっている。

図2 市郡別人口増加率

(昭和50～55年)



### 4. 男女別人口 ~~~~郡部で高く，市部で低い性比~~~~

昭和55年の男子人口は1,272,533人，女子は1,285,474人で男子の方が12,941人少なく，性比（女100人に対する男の数）は99.0となり，全国の性比は96.9より2.1ポイント高い，52歳未満では，男子が多く中でも35～39，40～44歳では，108.4，110.8と男子人口が大きく上回っている。53歳を過ぎると性比は，次第に低くなり，80歳以上では53.0で女性の長命を示している。

表2 性 比

(昭和35～55年)

地 域	年 次	35	40	45	50	55
県	計	95.5	96.1	96.7	98.1	99.0
市	部	96.9	97.3	96.8	97.4	98.0
郡	部	94.4	95.1	96.7	98.7	100.0
県	北 平 担	99.9	99.6	98.3	98.2	98.7
県	北 山 間	94.7	94.1	92.9	93.3	94.9
鹿	行	93.0	93.7	99.8	103.1	101.6
県	南	94.3	95.3	96.4	98.7	100.6
県	西	93.4	95.3	96.2	97.7	98.5

5. 年 齢 別 人 口 ～～ 上昇続ける老年人口 ～～

県人口を年令3区分別にみると、15才未満の年少人口は628,466人、15～64才の生産年令人口は1,692,449人、65才以上の老年人口は、236,485人で構成比はそれぞれ24.6%、66.2%、9.2%となっている。

これを50年と比較すると年少人口は48,279人(増加率8.3%)、生産年令人口は127,100人(8.1%)、老年人口は40,105人(20.4%)とそれぞれ増加となり、特に老年人口においてその増加率の伸びが目立っている。これら年

令3区分を昭和35年からの指数による変化でみると、年少人口指数(年少人口/生産年令人口×100)は昭和35年の54.2%から45年の37.1%と次第に下降してきたが、45年以降は平行線をたどっている。次に従属人口指数(年少人口+老年人口/生産年令人口×100)をみると、昭和35年の65.0%から50年の49.6%まで低下したが55年には51.1%と上昇に転じた。一方、老年人口指数(老年人口/生産年令人口×100)は、昭和35年の10.8%から上昇を続け55年には14.0%となり、また老年化指数(老年人口/年少人口×100)でも昭和35年の20.0%から上昇を続け55年には37.6%と実に17.6ポイント増加し、年々老年化の傾向を強めている。

図3 年令(3区分)別人口の推移 (大正9～昭和55年)

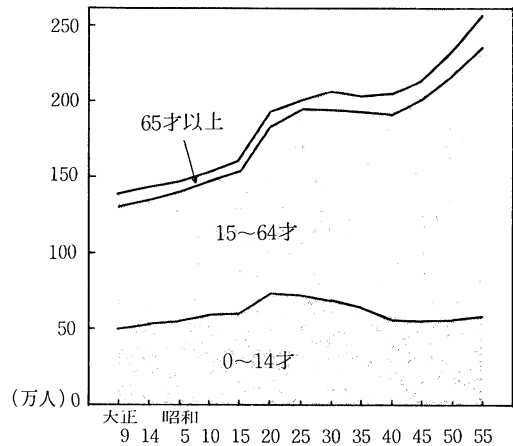
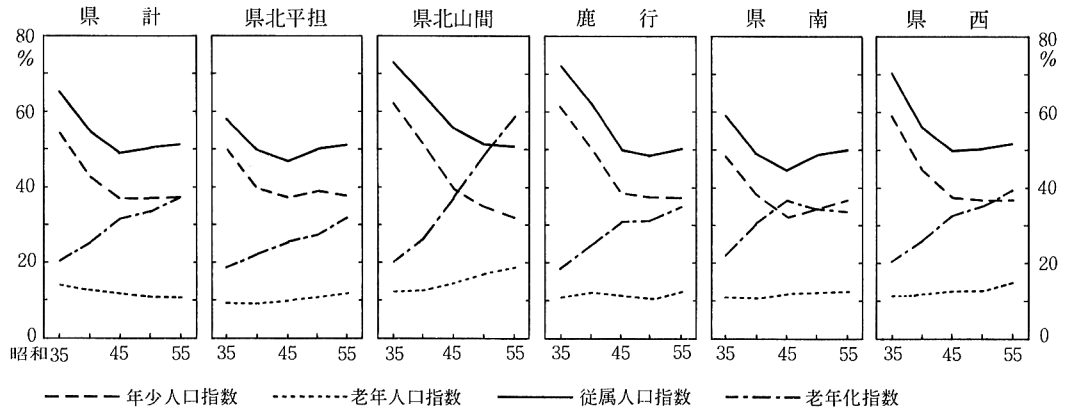


図4 地域別年齢構成指数の推移

(昭和35～55年)



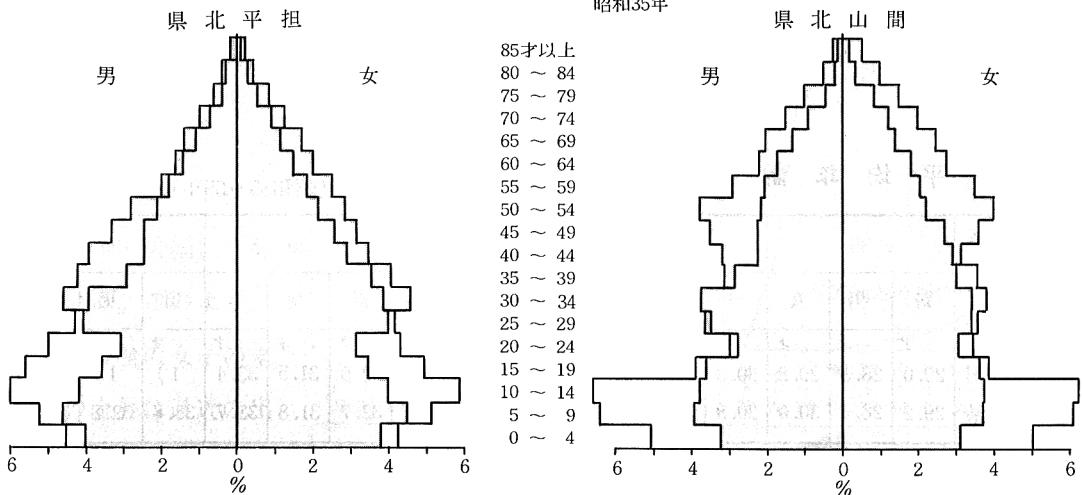
6. 地域別年齢3区分別の割合 ～～ 県北山間の老年人口割合12.5% ～～

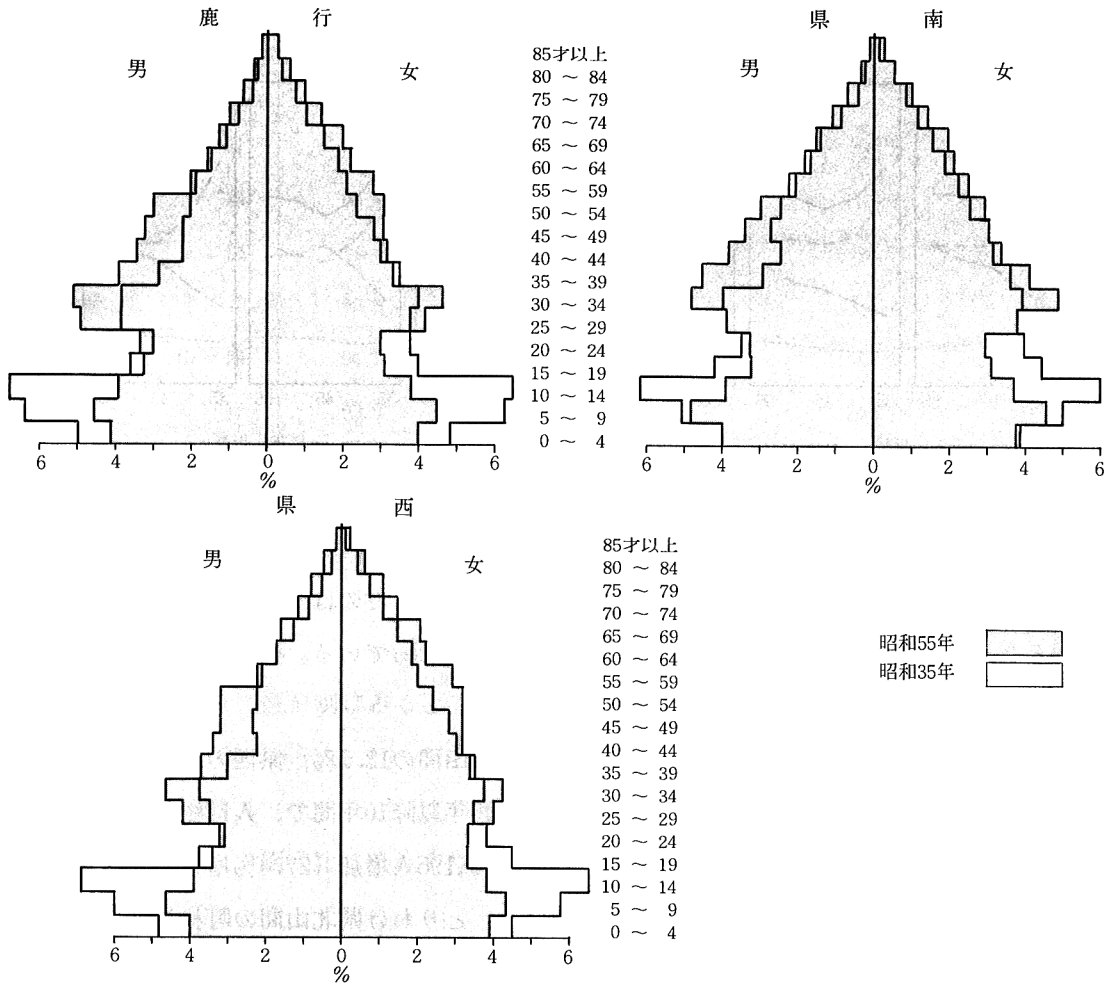
地域別にみると、年少人口の割合が県平均24.6%を上回ったのは、県北山間を除いた4地域となり、そのうち最も高いのは県北平担の25.2%となっている。県北山間は21.6%と県平均を3.0ポイント下回る結果となった。

老年人口割合が県平均9.2%を上回ったのは、県北山間の12.5%、県西の2.7%である。特に県北山間は、県平均を3.3ポイント上回り、45年以降10年間で、人口総数で4,514人減少(1.5%減)したにもかかわらず、老年人口は8,195人増加(27.4%増)しており、他の地域に比べて人口の老年化が急速に進んでいる。とりわけ県北山間の町村では、緒川村の17.6%をはじめいづれも高い割合となっている。

図5 地域別男女・年齢別人口

昭和55年  
昭和35年 (昭和55年・35年)





### 7. 平均年齢 ～～ 次第に上昇する平均年齢 ～～

県平均年齢をみると33.8才（男32.8才，女34.2才）となり昭和50年の32.7才（男31.8才，女33.7才）に比べ，1.1才高くなっている。

表3 平均年齢

(昭和35～55年) 全国・茨城県

地域	年次 性別	35			40			45			50			55		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
全 国		才	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才	才
全 国		29.0	28.3	29.8	30.3	29.6	31.1	31.5	30.6	32.3	32.5	31.5	33.4	1)	1)	1)
茨 城 県		29.2	28.4	30.0	30.8	29.9	31.6	32.0	31.1	32.9	32.7	31.8	33.7	33.8	32.8	34.8

(注) 1) 未公表のため不明